

龍谷大学における通学バスの混雑状況の 可視化と最適化

目標

龍谷大学瀬田キャンパスの
バス停における
混雑状況のデータによる可視化
将来的な混雑状況や運用について
考える

手順

1

Raspberry Piを用いて、
バス停にいる人数を把握できるセンサーシステムを作る。

2

センサーシステムを用いて、
バス停にいる人数を、5分毎カウントしていく。

3

毎5分カウントしたデータを読み込み、
折れ線グラフなどを用いて、可視化する。

4

可視化を行ったうえで「バスの混雑傾向」としてまとめ、
最適なバスの運用について考える。

